

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

## 1 施設名

鶴見中央地域ケアプラザ

## 2 事業計画

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

両地区とも駅に近く、商店街もあり、区役所、郵便局などの公共施設もあり、利便性が高い地域であり、近年新しく入ってくる人口が増加している地域です。また、伝統行事を大切にしている地域でもあり、地域行事が盛んに行なわれています。その関係性の中で、いざという時に助け合える関係もある、ふれあいの多い地域です。まず、しかしながら、子育て世代や20, 30代の方々の人口増加がある中、近隣住民との関係性が希薄となっている方が増えており、また、豊岡地区では、現在も高齢化率が高い地域の高齢化がより進み、鶴見中央地区では、人口の増加により高齢化率は近隣の地域より低くなっていますが、高齢者人口は増加しており、両地区とも地域で支えあう関係性づくりや次世代を担う人材の育成を近年模索し続けています。

地域で生活する、それぞれの方が互いを尊重しながら、「この地域に住んで良かった。」「この地域に住み続けたい。」という思いをともにもち生活するためには、つながりあい、支えあいながらの「より良い地域づくり。」をともに進めていくことが、これからのこの地域には不可欠と考えています。

その為には、地域でのつながりを強めていく必要があると考えています。多くの方が関われるように、乳幼児から、学齢期の子どもたちを対象とした事業や、元気な高齢者を多くする事業、多世代交流のできる事業などを、自治会町内会を中心とした地域の方々や保育園や学校との連携の中でケアプラザが多世代の方の活動拠点の一つとしての機能を活かし、これまでの繋がりを強めていき、新たな繋がりが出来るように取り組んでいきたいと考えています。

また、ケアプラザに足を運びにくい地域である豊岡地区にお住まいの方々の支援をとしては、健康などについての出張講座を積極的に連合や民生委員・児童委員等と協働し、豊岡地区あいねっとの会とも連動し、区や鶴見区社会福祉協議会とも連携し行っていきます。そして鶴見中央地区、豊岡地区のそれぞれで、鶴見区役所、鶴見区社会福祉協議会、その他地域団体との連携もより深め、「鶴見区あいねっと」の活動を地域の方々とともに引き続き強化していきます。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ① 全ての相談において相談者のプライバシーに配慮しました。
- ② 初回の相談については、職種を限定せず対応しました。
- ③ 内容によって必要な場合は専門職等がフォローを行います。
- ④ ケアプラザニュースなども利用し、近隣施設情報も提供していきました。
- ⑤ 区と連携して行い、専門機関を紹介するなどを行いました。
- ⑥ 地域活動に参加し、地域住人や関係機関と顔の見える関係を強め、相談しやすい関係を作りました。

(2) 各事業の連携

- ① 職種間の連携を強化し、互いの役割を補完しあうように努めました。
- ② 地域情報等の共有やニーズ発掘に努め、ケース対応や、自主事業につなげて行きました。
- ③ 地域課題に対して協働での事業を多く展開し、幅広世代が交流できるようにして行きました。
- ④ 職員会議などで情報を共有するだけでなく、必要な場合はコーディネーターもケース検討などにも参画し協力して対応する。小中学校の福祉教育の授業を担当し、協力して行きました。
- ⑤ 毎朝の確認会でも情報を共有しました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

2018年4月1日現在の職員体制は以下の通り。

- ◎ 所長 島田 徹
  
- ◎ 地域包括支援センター  
保健師職 廣瀬 裕子 社会福祉士 北村 由美子  
主任ケアマネージャー 稲山 祐子 社会福祉士 石川 尚樹
  
- ◎ 地域活動・交流  
地域活動コーディネーター 陶山 葉子  
サブコーディネーター 非常勤職員 4名  
生活支援コーディネーター 堀井 紗世
  
- ◎ 居宅介護支援事業所  
介護支援専門員 渡辺 千春・ 島田 徹
  
- ◎ デイサービス  
管理者 太田 雅也  
相談員 太田 雅也 国吉 建作 林 敬太  
介護職員・看護職員・運転手 非常勤職員 21名

※研修は毎月の内部研修と高齢者事業部の研修を年間1回実施、法人としての全体研修を 年1回実施。外部研修については、適時参加することが出来ました。

#### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ① 個々の課題に対し、地域にある諸機関・団体と連携する事で共に支援できる体制を構築して行きました。
- ② 地域の方が大切にしている、伝統行事やイベントを通して、地域情報を共有することで、地域課題に取り組む体制を作りました。
- ③ 町内会等の活動を知ること、協力できるところはさせて頂き、地域住民のつながりが、強くなるように支援して行きました。
- ⑤ 地域の取り組みや課題などを検討し、地域住民と意見交換等を通して地域診断を行うことで、共通理解をしてネットワークを広げて行きました。

#### (5) 区行政との協働

- ① 各種の連絡会に参加し、情報を共有し積極的に協働を図れるよう努めました。
- ② 鶴見あいねっと地区別支援チームメンバーとして区や区社会福祉協議会と協力し地域課題に対して積極的に取り組みました。
- ② 個別支援については、地区担当保健師、ケースワーカーと定期的に連絡会を開催し、支援の検討などを継続して行いました。
- ③ 地域包括ケアシステム構築に向け、地域ケア会議の運営を協働して行いました。

## 2 地域活動交流事業

#### (1) 自主企画事業

地域アセスメントを行い、地域でのニーズ把握を行い、各種自主事業につなげます。また、様々な世代が集うことができるような事業も実施することができました。

- ① 育児、子どもに関する事業を展開し、子育て世代の交流の輪を広げて行きました。
- ① 小学校、中学校の教育機関と協力し、学齢期にある子どもたちへの支援や場の提供として事業を実施しました。
- ② 障がい者余暇支援、就労支援などの事業を関係機関と協力して行いました。
- ③ 包括支援センターと協働し、認知症予防、介護予防に関する事業を行いました。
- ③ 子どもから高齢者まで、いろいろな世代が楽しめる、学べる場となるような事業を行いました。
- ④ 自主事業の定員を増やし、より多くの方々が参加できるようにし、交流の場となるよう実施しました。
- ⑤ 新しいプログラムを用意し、新しい方に足を運んでもらえる工夫をしました。

#### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ① 地理的条件で一般の利用が多くあるが、登録時にしっかりと聞き取りを行い団体の棲み分けを図りました。
- ② 地域団体の活動が地域保健活動に発展するよう利用団体にボランティアのお知らせなどを伝え、より多くの団体が、地域へのボランティアに興味を示してもらえるよう工夫をして行きました。
- ② 空き状況が利用者にわかりやすいように大きく月間で掲示しました。
- ③ ケアプラザニュースなどで利用率や空き状況を情報提供し、告知につとめます。各町会の回覧を実施しました。
- ⑤ 近隣の公共施設等の紹介を積極的に行いました。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

地域の様々な世代の方がボランティアに繋がるような事業や展開をすることが出来ました。

- ① 自主事業の準備などもボランティアの一つという意識付けを行い、活動の幅が広がるよう動機づけを行いました。
- ② 中学生やのボランティア体験や受入などを積極的に行いました。
- ③ 活動後にフィードバックを行い、継続的に育成できるよう留意しました。
- ④ 法人、他団体等とも協力、協働しボランティアの育成に努めるとともに派遣や受入の調整を行い次世代の担い手を地域と共に育て行きました。
- ④ 個人のボランティアを募集し、ケアプラザ内のボランティア等を実施し、地域の困りごとへのボランティア活動に発展していきました。
- ⑤ ボランティアや福祉に関する情報を積極的に伝え、より多くのボランティアを集めて行きました。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ① 地域の自治会、民生委員・児童委員協議会などの会議や活動にできる限り参加し、団体、人材等の社会資源の発掘、地域のニーズや状況の把握につとめました。
- ② 必要な情報を自治会、連合会の会議や自治会、連合会回覧などを通して情報の共有を図り、連携を強化しました。
- ② アンケートなどを行い、利用者などのニーズの把握につとめました。
- ③ ケアプラザニュース等で活動の紹介を行い、積極的にPRにつとめました。
- ④ 地域で活動している団体等のちらしの配架及び掲示を行うことで、情報提供及び周知を行いました。
- ⑤ ケアプラザ登録団体カードを積極的に活用し、情報提供を行いました。
- ⑥ 地域アセスメントを行い、地域ニーズの把握を行いました。
- ⑦ 生活支援コーディネーター、区社協と共に、ちょっとした困りごとボランティア団体の立ち上げを検討し、立ち上げに向けて活動していきました。

## 3 生活支援体制整備事業

### (1) 事業実施体制

- ① 月に1度5職種会議を開き、地域支援計画や進捗状況などの共有や、地域支援方法を検討し、連携しやすい事業体制作りを行うことができました。
- ② 月に1度区役所・区社協・ケアプラザと会議を行い、地域支援情報の共有・連携を図りながら事業実施に向けて行うことができました。

### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ① 今まで関わりのなかった豊岡地区の老人クラブや民生員の定例会に参加し、情報共有やニーズ把握に努めました。また、5職種が連携し出張講座や地域ケア会議に参加し、ニーズ把握、課題抽出を行ないました。
- ② 生活支援ボランティア団体を立ち上げ、活動を開始しました。定例会を行い、活動報告、課題など把握することができました。活動周知などをケアマネ、民生に向けて行なうことができました。また、生活支援ボランティアを行なおうとしている老人クラブと情報共有しながら行ないました。
- ③ 鶴見区で作成した地域・活動サービスリストをケアマネジャーが集まる会議等で周知を行なうことができました。

### (3) 連携・協議の場

- ① 地域ケア会議の場において、課題として上がった「買い物に困っている。」という声から移動販売実施へつながりました。
- ② 近隣の介護事業所や企業と連携をして、豊岡ふらっとカフェや鶴見みんなの会を実施することができました。
- ③ 出張講座や、定例会等で生活支援コーディネーターの説明をして住民の方や企業の方、介護事業所の方等に理解してもらうように努めました。

### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ① 月に1度開催している、区役所・区社協・ケアプラの会議にて、情報の共有や地域課題に対する支援方法について話し合うことができました。
- ② 地域ケア会議を区役所、区社協と連携し行い、地域課題の把握を行なうことができた。結果、協議体へ繋がり買い物支援へと繋がることができました。
- ③ 必要に応じて他のケアプラザと隣接する区域に対して、必要に応じ情報の共有や、協働しアセスメントを行うよう努めました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

- ① 鶴見あいねつとを軸に、地域住民、地域にある諸機関・団体と連携し共に支援できる体制を構築した。
- ② ケアプラザ職員全体で地域情報を共有することで、より良い地域づくりに取り組む体制や方法を考え実施した。
- ③ 地域行事やサロン、会議などの参加を通じて、地域住民や関係機関等に専門職種の働きを周知し積極的に連携していけるように活動できた。

#### ② 実態把握

- ① 地域に出向き会長や民生委員より情報を得ることで地域課題をつかみ、地域ケア会議で皆さんに伝え共有、移動販売や居場所づくりの実現に結びつくことができた。
- ② 区役所からの相談票を確認することで個別支援の方向性について共有し、ケアプラザに相談者が来所された時もスムーズに対応できた。
- ③ 地域行事への参加や出張講座を行うことで町会・自治会の抱える課題を把握した。
- ④ 区役所との連絡会を通して、職種の領域を超え地域課題や個別支援等について情報を共有し検討できた。
- ⑤ ケアマネジャーとの情報交換を積極的に行い連携に努めた。
- ⑥ 虐待や金銭管理等単身高齢者が抱える問題に加え、家族に対しても支援が必要なケースが増えているため、区役所とケアプラザが情報を共有し早期に対応した。

### ③ 総合相談支援

- ① ケアプラザニュースへの記事掲載や地域の行事等に出席する事を通して、専門職の働き、顔と名前を地域の方々に知ってもらい、気軽に相談が出来る窓口としての働きを強化できた。
- ② 来所が困難な方へは、訪問し相談対応をする。また、高齢者住宅の相談員と連携し、状況把握と出張講座を実施した。
- ③ 窓口、電話相談の際は個人情報に留意し、安心して相談出来る環境を作った。
- ④ 継続支援が必要な個別ケースについては、担当ケースワーカー、保健師と協力し、対応できた。
- ⑤ 権利擁護の支援は、社会福祉士連絡会、サポートネット（弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士等の専門職種）と連携して支援体制を作ることができた。
- ⑥ 相談内容は包括職員で共有し、対応できた。
- ⑦ 相談記録をデータベース化して管理することにより、相談内容や支援経過を常に共有できた。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ① 成年後見制度や虐待防止の普及啓発等を地域住民にも分かりやすく伝えられるようにケアプラザニュースへの記事掲載や講座等を企画した。
- ② 区内の社会福祉士、行政と協力し、スキルアップを図った。
- ③ エンディングノートの講座を地域に向けて展開した。弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士の専門職と連携し、権利擁護活動を積極的に展開しました。
- ④ 中央・豊岡地区消費生活推進委員と連携を行い、消費者被害防止の啓発活動を行いました。

### ② 高齢者虐待への対応

- ① 行政との連絡を密にし、報告があがった際に迅速に対応出来るように支援体制を構築した。
- ② 地域住民や専門職、介護保険事業者と連携し、早期発見、予防に努めた。
- ③ 虐待防止に関する事業を企画し、地域へ啓発出来る様に準備しました。  
具体的には、鶴見区内社会福祉士連絡会を通して、虐待予防普及啓発パンフレットとして、「みんなで防ごう！高齢者虐待防止ガイド」の作成を行った。
- ④ 商店街イベントに参加した際、虐待防止の普及啓発を行った。
- ⑤ 鶴見区内社会福祉士連絡会を通して、地域の介護保険事業所対象に虐待対応について理解を深める研修はできていない。次年度以降での実施を検討している。

### ③ 認知症

- ① 認知症サポーター養成講座の開催を継続的に行い、地域住民や企業等に認知症の理解を周知した。
- ② 地域のイベントなどで、認知症の予防や理解等情報発信を啓発冊子など用いて行った。
- ③ 鶴見中央地区キャラバンメイト連絡会が2年目を迎え、連絡会参加者が主体的に認知症普及啓発活動できるように支援した。
- ④ 成年後見制度の活用など、権利擁護についての理解を深めて行った。
- ⑤ 専門職や医療機関等との連携で支援体制を構築して行った。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ① 民生委員の定例会、ケアマネジャー連絡会、地域ケア会議等の場で地域包括ケアシステムにおける地域ケア会議の機能や必要性について説明を行い、理解と協力体制の構築に努めました。
- ③ 民生委員とケアマネジャーの顔の見える関係づくりとして意見交換の場を持ち、地域の高齢者の状況及び課題や必要な支援について情報を共有し、相互理解と連携が図れるように努めました。今後は「あんしんカード」の周知を図り、連携のツールとして活用することで地域の見守りネットワークの構築に努めていきます。
- ④ 介護・医療連携推進会議や地域密着型通所介護事業所の運営推進会議等にも参加して、個別課題の検討や身近な地域でのより良い支援体制の構築に向けた取り組みを行いました。サービス事業所間のネットワーク構築の後方支援を行うとともに、多職種連携による地域活動が行えるような環境作りに努めました。
- ⑤ 鶴見区事業者連絡会「つばさねっと」については区とも連携しながら共催の事業や研修等を企画してきました。また、役員会、部会、定例会に参加することで後方支援を行いました。
- ⑥ 会議に参加をしたり、出張講座を行う等、地域包括支援センターの活動内容について地域住民に知っていただくための周知活動に努めてきました。地域の児童や要援護者の見守り活動に継続的な協力を行いました。

#### ④ 医療・介護の連携推進支援

- ① 区内の包括支援センター合同で区役所、「つばさねっと」と連携を図りながら、ケアマネジャーと訪問看護ステーションの情報交換や研修の場を設け、地域包括ケアシステムの構築を図っています。
- ② 区内の包括支援センター合同で区役所、「つばさねっと」と連携を図りながら、地域のケアマネジャーと病院医療連携室との情報交換会を実施し、医療と介護の連携構築を図っています。
- ② 在宅医療機関とケアマネジャー、サービス事業所等の相互理解や連携支援のために意見交換会等を行い、協力・連携体制の強化を図りました。

#### ③ ケアマネジャー支援

- ① 区内全包括と区役所、区社協との協同で、新任・就労予定ケアマネジャーの研修を行いました。新人のケアマネジャー同士の事業所外での情報交換の場として活用し、居宅の主任ケアマネジャーにも企画・運営に参加を呼びかけてきました。
- ② 区内の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャー支援としてその役割等について意見交換の場を設け、地域包括ケアシステムに向けて連携強化を図っています。
- ③ 鶴見区事業所連絡会「つばさねっと」との共催研修や定例会、役員会への参加を通して後方支援を継続してきました。
- ④ ほかの包括支援センターや「つばさねっと」と共催で事例検討や勉強会を開催し、地域のケアマネジャーのスキルアップを図ってきました。今後は居宅の主任ケアマネジャーにもオブザーバーとして参加して頂き、情報交換の場としても活用して行きたいと思います。
- ⑤ ケアマネジャーの個別相談、サービス担当者会議への参加や会場の提供、ケアカンファレンスを3職種で分担し、随時行ってきました。案件によっては多職種で対応する等丁寧な対応に心がけてきました。相談ケースの経過については随時連絡を入れ、状況把握を行い、支援困難なケースについてはケアマネジャーと同行訪問を行ったり、ケアプラザでのカンファレンス開催を支援してきました。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ① 地域包括ケアシステム構築に向けて、「地域ケア会議」を区役所と連携を図りながら実施してきました。地域の事業所や民生委員・児童委員、自治体等のフォーマル・インフォーマルの社会資源とネットワーク構築を図り、ケアプラザ職員全体で協働しています。
- ② 医療と介護の連携に基づく地域包括ケアの構築のために、医療職に「地域ケア会議」への参加を求めてきました。今後はリハビリ関係者にも積極的に参加を呼びかけて行きます。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

##### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ① 目標を設定では、利用者が達成感を持つことができ、地域への参加意欲や活動意欲が高めていけるような内容にし、その後の働きかけを行いました。
- ② サービス利用の支援にあたっては、介護保険サービスの他、インフォーマルサービス、地域資源等を紹介し利用者自身が地域の様々な資源を選択して介護予防のために保健・医療・福祉サービスを適切に利用することができるように支援しました。

#### (6) 一般介護予防事業

##### 一般介護予防事業

- ① より幅広い年齢、健康状態の方が地域で健康づくりができるように、楽しく効果的なアクティビティを年間を通じて地域に紹介しました。またそれについて出張講座も積極的に取り入れました。
- ② 介護予防の人材の発掘を視点を、地域の方が介護予防に興味を持ってもらえるよう工夫した講座を開催しました。また地域で健康づくりや介護予防に関して活動されている地域ボランティアを対象に実践的な介護予防アクティビティを身につけられることを目的に講座を実施し、良い結果を得られました。
- ③ 自治会町内会の活動やケアプラザの様々な事業を活かして顔の見える関係づくりをめざし関係性を強めていきました。
- ④ 健康づくり、介護予防に関して現在地域で活動している方々や老人クラブ、サロンのサポートを行いました。

#### その他

--



## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

- ・主任を維持管理責任者、サブコーディネーターを日々の巡回担当者とし、維持確認に努めるとともに、職員を各室責任者として配置し、不具合があった場合はすみやかに所長に報告、修理営繕に努めました。
- ・業務確認会などで不具合がないかなどの確認を行うとともに、修繕を行った場合には情報をシェアーしスタッフの意識向上につとめ、適正な維持管理を行いました。
- ・マンション管理組合や保育園などとも連絡を密にし、不具合があった場合にはすみやかに管理会社と連携し対応しました。
- ・委託管理項目については、業者との連絡を密にし、確認徹底を行いました。
- ・毎朝の清掃、障がい作業所への清掃依頼、月一回の専門業者への清掃を依頼しており、清潔な環境づくりに取り組みました。

### イ 効率的な運営への取組について

- ①月次職員確認会において収支確認を行い、スタッフ全体の効率的運営への意識を高め効率よい運営に取り組みました。
- ③ 非常勤スタッフと月次確認会を実施し、情報の共有を行い、円滑運営に取り組みました。
- ④ 毎朝行う業務確認会等で情報連絡を密にし、情報を共有し業務を円滑に行いました。
- ④ エアコンの温度調整や照明の ON、OFF 管理を徹底し、節電に積極的に取り組みました。

### ウ 苦情受付体制について

- ① 所長（不在時は管理者）を苦情受付担当者とし、マニュアルに沿って迅速に対応しました。
- ② 必要な場合はすみやかに区に報告を行い、指示を仰ぎました。
- ③ 個人情報に配慮しながら、回覧、業務確認会等での確認を通して、周知をはかり改善、防止に努めました。
- ③ 法人の第三者委員会の周知に努めました。

### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ① 所長を班長として防犯班を組織し、防犯の意識を高め防犯・防災に対しての備えを行いました。
- ⑤ 来館者には必ず声をかけるなどし、不審者の侵入を防ぐように配慮しました。
- ⑥ 小、中学生のみの利用者に対しては、来館者名簿への記名を行いました。
- ⑦ 施設巡回・点検の中で確認を行い、また、閉館時はすみやかに施錠を行い、防犯に配慮しました。
- ⑧ 所長を防火管理者とした消防計画により、消防訓練を行いました。
- ⑨ マンション管理組合、保育園とも協力し合同消防訓練を行いました。
- ⑩ マンション、保育園と連携し、災害時の避難に関する備えを強化しました。
- ⑪ 緊急連絡網を整備し、夜間、休日などでも必要時は対応ができるようにしました。
- ⑫ 必要な場合は、区及び局などに報告し、指示を仰ぎました。
- ⑬ 自治会が行っている地域の防犯パトロールや防災訓練に参加し、協力体制を構築しました。
- ⑭ 避難経路の再確認を職員と来館者ともに周知して行きました。

#### オ 事故防止への取組について

- ② マニュアルをもとに、研修を実施し事故防止への意識を高めました。
- ③ 日々の点検の中で確認を行い、業務確認会などで情報共有を行うとともに、安全衛生委員会を組織し環境整備を心がけました。
- ④ 必要な掲示等を行い、事故発生を防ぐための配慮を行いました。
- ⑤ 書類送付などの際はマニュアルに従い、必ずダブルチェックを行い、事故防止に努めました。
- ⑥ 事故発生の場合は、業務確認会、職員会などで情報を共有し再発防止に努めました。
- ⑦ 他事業所の事例などが報告された場合は情報を共有し、事故防止の資料として活用しました。
- ⑧ 法人全体の安全週間（7月）に合わせ、利用者等へ安全への啓発を行いました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報はその方の人格そのものであるという意識を持ち、その取り扱いについて配慮を高めました。
- ・ マニュアル通りの作業の徹底を図り、必要な場合にはすみやかにマニュアルの改訂を行いました。また研修を行い、情報保護についての理解を深めるとともに誓約を行いました。
- ・ チェックリストを利用し、随時確認し意識を高めました。

#### キ 情報公開への取組について

- ② 理事会資料、法人資料などをロビーに置き、自由に閲覧できるようにしました。
- ② 情報公開関係の必要な情報を積極的に掲示しました。
- ③ ホームページ等の更新、ブログなどを利用し情報公開に努力しました。
- ④ 必要な場合はニュースなどに記事として取り上げ周知を図りました。

#### ク 人権啓発への取組について

- ① 法人として、人権問題を含んだ行動規範を示し、「思いやり」「誠実さ」「尊敬心」「責任感」を持って行動できるように全職員に研修を行い、行動規範に対しての誓約を行っていただきました。
- ② 人権問題で苦しんでいる方がいることを覚えて、チラシやポスター等による啓発活動を実践して行きました。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

- ① 横浜市の手引きを来館者に理解して頂ける様に、PRのポスター、のぼり、冊子などを置き活動の理解をして頂く。来館者が出したごみは、お持ち帰りいただくように指導して行きました。
- ② 環境委員会を組織し、リサイクル、衛生管理などの取り組みを継続し、「ヨコハマ3R夢」に取り組み、また節電への取り組みを実践し、環境への配慮について掲示すると共に来館者に理解を求めました。
- ③ 職員間でもリサイクルの実践例を紹介し、備品等購入する際は、出来る限り環境に配慮したものを使用しました。
- ④ FAX受信時は、裏紙を使用しコピー用紙の軽減に取り組んでいきました。
- ⑤ 事務所内に分別のコーナーの設置、整理整頓の実践を継続して行きました。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者：1名（兼務）  
担当職員：4名（保健師、社会福祉士2名、主任ケアマネジャー）

#### 《目標》

利用者の意思に基づきニーズを把握し、意欲を引き出すための介護予防サービス計画書を作成するとともに指定介護予防サービス等の適切な提供が確保されるよう関係機関との連絡調整、その他便宜を図っていきます。また、介護予防に重点を置き利用者自身が健康管理に関心を持ち、身体的・精神的に安定した生活が営めるよう支援を行いました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- インフォーマルサービスや地域資源を有効活用した支援ができるよう、関係機関との連携を図っていきます。また、利用者にも適宜情報提供しました。
- サービス利用に至らない方に対する支援や困難事例にも支援体制を構築できるようにケアマネジャーと連携を図り積極的に対応していききました。
- 業務委託を依頼している居宅介護支援事業所には、支援目標を共有することで自立へ向けての支援が出来るよう努めます。初回訪問や担当者会議等担当の事業所と連携を密にし、利用者の伝達を行っていききました。
- 介護者の集いを開催することで、情報発信や介護者の不安や要望などを聞く機会を作り支援していききました。

#### 《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
195	197	202	205	215	214
10月	11月	12月	1月	2月	3月
200	216	210	215	228	228

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（兼務）  
 介護支援専門員 2名（兼務1名 専従1名）

《目標》

- ・利用者の置かれている状況において解決すべき課題と可能性を把握し、本人・家族の思いに寄り添いながら望む生活の実現に向けて支援する。要介護状態でも利用者の持つ強みを活かし、自立を促進する支援を心がけました
- ・公平中立なケアマネジメントと法令遵守を心がけ、ケアプラン作成を行う。
- ・地域包括支援センター、サービス事業所、行政、医療機関、民生委員等との連携・協力を図り、住み慣れた地域の中で生活し続けることを支援しました。
- ・個人情報取り扱いには十分な配慮を行い、ケアプラザ全体で支援する体制を整え、丁寧に対応しました。
- ・地域の方々の活動拠点としてのケアプラザにある居宅介護支援事業所として介護者支援、社会資源の育成や活性の役割を持ち、地域のネットワーク作りを意識しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・利用者の持っている力に目を向けて自立を支援するとともに介護者に対しての支援を心がけていく。幅広い豊富な知識と実践力の向上を心がけ、ケアマネジャーとして地域包括支援システムにおいて連携を図りました。
- ・地域ケアプラザにある事業所として特徴を生かし、地域包括支援センターや他機関、民生委員等との連携・協働による支援を心がけました。
- ・月1回発行するケアプラザニュースには年間を通して介護保険や介護関連の記事を掲載し、情報提供を行うことで利用者や家族の支援に努めました。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
44	47	43	45	42	441
10月	11月	12月	1月	2月	3月
41	43	43	44	44	43

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

●入浴、排泄、食事、送迎、レクリエーション、体操（機能訓練を含）、その他の活動  
 《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

(要介護1)	692円/1回(一般型)	1072円/1回(認知症対応型)
(要介護2)	816円/1回(一般型)	1188円/1回(認知症対応型)
(要介護3)	947円/1回(一般型)	1305円/1回(認知症対応型)
(要介護4)	1076円/1回(一般型)	1422円/1回(認知症対応型)
(要介護5)	1205円/1回(一般型)	1539円/1回(認知症対応型)

● 食費負担 700円

● 入浴 54円/1回(一般型)

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載を  
 してください。

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 9:45 ~ 16:50

《職員体制》 管理者：1名(兼務) 生活相談員：3名(兼務)  
 看護職員：6名(兼務) 介護職員：12名(兼務)  
 機能訓練指導員6名(兼務) 送迎ドライバー：3名

《目標》

- ・ 要介護者の心身の状態に合ったケアが提供できるように、職員間や家族、ケアマネジャーとの情報共有を徹底することが出来ました。
- ・ 利用者の能力に応じ、自立した生活を営むことができるように、食事やプログラムなどにおいて、できる限り自身で選択できる機会を提供するように出来ました。
- ・ 行政や地域包括支援センター、ケアマネジャー等と連携を図り、また家族との信頼関係も深めながら、情報をきゅゆうすることが出来ました。
- ・ 認知症や障害があっても、穏やかな気持ちで、その方が持っている能力を発揮することが出来る場が作れるように配慮して、実施することが出来ました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・ 自立支援の第一歩として、自己決定の機会を確保するため、様々な場面で選択の機会を設定することが出来ました。
- ・ 排泄や入浴の際は同性介助を行うとともに、浴槽も一般浴に関しては男女別に設置して、実施しました。
- ・ 看護師を2名体制とし、重度のご利用者様でも対応できるような体制を整えて運営できました。
- ・ 保育園、小学校の子ども達やボランティアさん(個人、団体)が多く、地域の方との交流を積極的に行うことが出来ました。

《利用者目標(延べ人数)》【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
503	578	586	558	543	537
10月	11月	12月	1月	2月	3月
619	624	589	583	595	598

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴、排泄、食事、送迎、レクリエーション、体操（機能訓練を含）、その他活動

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1） 1766円／1ヶ月（第1号） 927円／1回（認知症対応型）

（要支援2） 3621円／1ヶ月（第1号） 1036円／1回（認知症対応型）

● 食費負担 700円／1回

● 入浴（認知症対応型のみ） 55円／1回

● 生活向上グループ活動加算 108円／1ヶ月

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 9:45 ~ 16:50

《職員体制》

管理者：1名（兼務） 生活相談員：3名（兼務）

看護職員：6名（兼務） 介護職員：12名（兼務）

機能訓練指導員6名（兼務） 送迎ドライバー：3名

《目標》

・要支援者の心身の状態に合ったケアが提供できるように、職員間や家族、ケアマネジャーとの情報共有することが出来ました。

・一人一人がその能力に応じて、自立した生活を営むことができるように、プログラムにおいてもリーダーシップが発揮できる用にできました。

・行政や地域包括支援センター、ケアマネジャー等と連携を図り、また家族との信頼関係も深め、情報を共有することが出来ました。

・認知症があっても、安らいだ気持ちで、その方が持っている能力を発揮することが出来る場が作れるように配慮することが出来ました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

・自立支援の第一歩として、自己決定の機会を確保するため、様々な場面で選択の機会を設定することが出来ました。

・排泄や入浴の際は同性介助を行うとともに、浴槽も一般浴に関しては男女別に設置して行いました。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
15	13	15	14	11	14
10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	14	14	13	16	17

平成30年度「(鶴見中央地域ケアプラザ施設名)」  
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,591,824		19,591,824	19,591,824	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業			0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理充当)			0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)			0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	19,591,824	0	19,591,824	19,591,824	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,370,000		11,370,000	13,344,743	1,974,743	
本俸	9,800,000		9,800,000	9,563,129	236,871	
社会保険料	970,000		970,000	923,346	46,654	
手当計	240,000		240,000	2,102,082	1,862,082	
健康診断費	120,000		120,000	94,122	25,878	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふゆんぽ
退職給付引当金繰入額	240,000		240,000	662,064	422,064	
その他			0	0	0	
事務費	1,394,000		1,394,000	1,306,908	87,092	
旅費	24,000		24,000	8,841	15,159	
消耗品費	96,000		96,000	212,516	116,516	
会議随行費	20,000		20,000	19,901	99	
印刷製本費	120,000		120,000	128,597	8,597	
通信費	240,000		240,000	378,111	138,111	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	0	100,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	140,000		140,000	157,356	17,356	
職員等研修費	30,000		30,000	10,000	20,000	
振込手数料	24,000		24,000	33,689	9,689	
リース料	311,000		311,000	33,840	277,160	
手数料	80,000		80,000	0	80,000	
地域協力費	209,000		209,000	193,309	15,691	
その他			0	130,748	130,748	
事業費	42,000		42,000	678,252	632,801	
運営協議会経費	42,000		42,000	45,451	3,451	予算-指定額
指定管理料充当 事業			0	632,801	632,801	
管理費	4,146,200		4,146,200	4,597,634	473,842	
建築物・建築設備点検	73,000		73,000	55,458	17,542	予算-指定額
光熱水費	994,000		994,000	971,592	22,408	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	717,000		717,000	780,971	63,971	
修繕費	474,000		474,000	112,623	361,377	予算-指定額
機械整備費	64,000		64,000	64,961	961	
設備保全費	1,087,200		1,087,200	538,053	549,147	
空調衛生設備保守	200,000		200,000	172,456	27,544	
消防設備保守	200,000		200,000	0	200,000	
電気設備保守	407,200		407,200	0	407,200	
害虫駆除清掃保守	280,000		280,000	27,068	252,932	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	338,529	338,529	
共益費	737,000		737,000	1,052,176	315,176	
その他			0	1,021,800	1,021,800	
公租公課	864,800	0	864,800	1,067,579	202,779	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	864,800		864,800	1,067,579	202,779	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)		0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	17,817,000	0	13,670,800	20,995,116	3,197,073	
差引	1,774,824	0	5,921,024	1,403,292	3,197,073	

自主事業費収入	500,000		500,000	358,150	141,850	
自主事業費支出	1,578,000		1,578,000	990,951	587,049	
自主事業収支	1,078,000	0	1,078,000	632,801	445,199	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	700,000	0	700,000	50,389	649,611	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	700,000	0	700,000	18,300	681,700	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	32,089	32,089	

平成30年度「鶴見中央地域ケアプラザ(施設名)」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	29,128,322		29,128,322	29,128,322	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)			0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)			0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)			0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	23,000	0	23,000	23,000	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料	20,000		20,000	20,000	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他(指定管理充当)	3,000		3,000	3,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	35,091,322	0	35,331,438	35,331,438	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	29,900,000	0	29,900,000	31,996,927	2,096,927	
本俸	24,000,000		24,000,000	18,454,000	5,546,000	
社会保険料	4,600,000		4,600,000	4,605,327	5,327	
手当計	280,000		280,000	8,391,118	8,111,118	
健康診断費	300,000		300,000	158,494	141,506	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	720,000		720,000	384,072	335,928	
その他			0	3,916	3,916	
事務費	1,479,000	0	1,479,000	789,002	689,998	
旅費	96,000		96,000	23,827	72,173	
消耗品費	120,000		120,000	108,558	11,442	
会議贈り費	10,000		10,000	10,000	0	
印刷製本費	240,000		240,000	34,174	205,826	
通信費	348,000		348,000	246,283	101,717	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	20,000		20,000	20,000	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	37,000		37,000	154,147	117,147	
職員等研修費	150,000		150,000	36,320	113,680	
振込手数料	24,000		24,000	9,460	14,540	
リース料	182,000		182,000	62,928	119,072	
手数料			0	0	0	
地域協力費	172,000		172,000	23,721	148,279	
その他	80,000		80,000	89,584	9,584	
事業費	1,090,000	0	1,090,000	633,601	456,399	
協力医	630,000		630,000	63,000	567,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)			0	263,116	263,116	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	151,878	878	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	155,607	153,393	予算:指定額
管理費	1,151,900	0	1,151,900	1,175,528	23,628	
建築物・建築設備点検	15,000		15,000	14,742	258	予算:指定額
光熱水費	310,000	0	310,000	258,271	51,729	
電気料金	240,000		240,000	198,973	41,027	
ガス料金	6,000		6,000	6,805	805	
水道料金	60,000		60,000	52,493	7,507	
清掃費	190,000		190,000	156,878	33,122	
修繕費	126,000		126,000	29,937	96,063	予算:指定額
機械警備費	17,000		17,000	17,268	268	
設備保全費	297,900	0	297,900	147,126	150,774	
空調衛生設備保守	83,900		83,900	83,900	0	
消防設備保守	50,000		50,000	50,000	0	
電気設備保守	80,000		80,000	80,000	0	
害虫駆除清掃保守	84,000		84,000	7,194	76,806	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	139,932	139,932	
共益費	196,000		196,000	279,690	83,690	
その他			0	271,616	271,616	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他( )			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)		0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	33,620,900	0	33,620,900	34,595,058	974,158	
差引	1,470,422	0	1,710,538	736,380	974,158	

自主事業費収入				77,850		
自主事業費支出				340,966		
自主事業収支	0			263,116		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入						駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出						使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		



平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 鶴見中央地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日  
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	1000	4454	-3454	8500	5298	3202	57740	60155	-2415	3000	4778	-1778
	その他	2000	6812	-4812	120	262	-142	3758	4410	-652	600	616	-16
	介護予防ケアマネジメント費	2000	6812	-4812	120	262	-142			0			0
	事業・負担金収入			0			0	3758	4410	-652	600	616	-16
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
		その他			0			0			0		
	<b>収入合計(A)</b>	3000	11266	-8266	8620	5560	3060	61498	64565	-3067	3600	5394	-1794
支出	人件費	3400	2896	504	7500	10571	-3071	35150	31673	3477	2700	3548	-848
	事務費	300	1064	-764	1000	490	510	2850	3150	-300	150	350	-200
	事業費	140	88	52	120	4	116	9500	11277	-1777	400	1253	-853
	管理費	100	78	22	120	6	114	6650	7461	-811	350	829	-479
	その他	0	7468	-7468	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料		7468	-7468			0			0			0
				0			0			0			0
		その他			0			0			0		
	<b>支出合計(B)</b>	3940	11594	-7654	8740	11071	-2331	54150	53561	589	3600	5980	-2380
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>-940</b>	<b>-328</b>	<b>-612</b>	<b>-120</b>	<b>-5511</b>	<b>5391</b>	<b>7348</b>	<b>11004</b>	<b>-3656</b>	<b>0</b>	<b>-586</b>	<b>586</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

# 平成30年度 自主事業収支計画書

## 横浜市鶴見中央地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護予防体操	高齢者	160930	地活	5230	155700	0	0	160930	0
	25		包括						
	100		介護						
			生活						
楽しく絵手紙	高齢者	170718	地活	83218	87500		168000	2718	0
	9		包括						
	500		介護						
			生活						
英語であれこれ	高齢者	129600	地活	91800	37800		129600	0	0
	15		包括						
	300		介護						
			生活						
あら、ま～韓国	高齢者	129600	地活	86100	43500		129600	0	0
	15		包括						
	300		介護						
			生活						
簡単押し花	高齢者	37970	地活	10470	27500		0	37970	0
	10		包括						
	500		介護						
			生活						
元気で脳体操	高齢者	0	地活	0	0		0	0	0
	15		包括						
	0		介護						
			生活						
折り紙で指体操	高齢者	14451	地活	3251	11200	0	0	14451	0
	10		包括						
	200		介護						
			生活						
うたごえ	高齢者	2750	地活	2750	0	0	0	2750	0
	50		包括						
	0		介護						
			生活						
寺子屋	高齢者	25055	地活	1005	24050	0	0	25055	0
	20		包括						
	50		介護						
			生活						
子育て応援講座	親子	0	地活	0	0		0	0	0
	15		包括						
	0		介護						
			生活						
子育てイベント	親子	2232	地活	2232	0		0	2232	0
	100		包括						
	0		介護						
			生活						
こどものあそびば	親子・小学生	0	地活	0	0		0	0	0
	なし		包括						
	0		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

## 平成30年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
出前保育(さくらんぼの会)	親子	0	地活	0	0		0	0	0
	100		包括						
	0		介護						
			生活						
夏休み宿題大作戦	小学生	0	地活	0	0			0	0
	12		包括						
	0		介護						
			生活						
自由研究スペシャル	小学生	10990	地活	7690	3300		0	10990	0
	10		包括						
	300		介護						
			生活						
こどものアトリエ	小学生	50093	地活	32093	18000		35000	15093	0
	12		包括						
	300		介護						
			生活						
お茶飲み会	地域	32418	地活	9718	22700		0	32418	0
	20		包括						
	100		介護						
			生活						
月1! 大掃除	地域	5206	地活	5206	0		0	5206	0
	なし		包括						
	0		介護						
			生活						
ケアプラザニュース	地域	98500	地活	98500	0		0	98500	0
	なし		包括						
	0		介護						
			生活						
ケアプラザ祭り	地域	204504	地活	206504			0	204504	0
	なし		包括						
	0		介護						
			生活						
食の健康講座	地域	38500	地活	38500	0		0	38500	0
	30		包括						
	なし		介護						
			生活						
らとともこどものラジオ体操	地域	24000	地活	24000	0		0	24000	0
	なし		包括						
	0		介護						
			生活						
作業所自主製作販売	地域	7895	地活	5895	2000		0	7895	0
	10		包括						
	500		介護						
			生活						
みんなでしめ飾りづくり	地域	0	地活		0		0	0	0
	なし		包括						
	0		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市鶴見中央地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防体操	楽しみつつ、健康や介護予防を図る。YMCA介護予防体操の実施。	1回／週

事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽しく絵手紙	絵手紙製作を通し、楽しみつつ仲間を作り、閉じこもり、認知症予防を図る。	2回／月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
英語であれこれ	普段使わない言語を使用し脳の活性を図り、楽しみつつ介護予防を図る。	1回／月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あら、ま～ 韓国	普段使わない言語を使用し脳の活性を図り、楽しみつつ介護予防を図る。	1回／月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
簡単押し花	押し花製作を通し、楽しみつつ仲間を作り閉じこもり、認知症予防を図る。	1回／偶数月

# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気で脳体操	楽しみつつ脳を活性化し、認知症予防、介護予防を図る。	2回／月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
折り紙で指体操	作品製作を通し、楽しみつつ仲間を作り閉じこもり、認知症予防を図る。	1回／奇数月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたごえ	楽しみつつ交流を図り、仲間を作り、リフレッシュの機会を目的に実施。昭和の流行歌を皆で歌う。	1回／月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
寺子屋	楽しみつつ脳を活性化し、認知症予防、介護予防を図る。簡単な読み書き、計算を実施する。	2回／月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て応援講座	乳幼児の父親を対象に、子育てのコツ等の講座を実施。この講座をきっかけに父親同士が交流できる場を提供し、仲間作りを応援する。	10月～11月合計3回 実施予定

# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てイベント	養育者の孤立、引きこもりを 방지、親同士の交流、ネットワーク作りを目的に実施。	年3回予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどものあそびば	養育者の孤立、引きこもりを防止、親同士の交流を目的にフリースペースとして開放する。	常設

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前保育 (さくらんぼの会)	養育者の孤立、引きこもりを防止、親同士の交流を目的に近隣保育園と協力し親子向けプログラムを実施する。	1回/月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み宿題大作戦	長期休みの青少年の支援の一環として実施。宿題をもちよりに、ケアプラザで行う。	夏休み

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自由研究スペシャル	長期休みの青少年の支援の一環として実施。毎回テーマを決めグループでテーマに沿って学習を行う。学年を超えた交流の機会。	夏休み

# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどものアトリエ	小学生の居場所づくり。学年を超えた交流の機会。	1回／月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お茶飲み会	地域の方々の交流の場、継続できる仲間作りを目的にセルフサービス喫茶を実施する。	2回／月 月曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
月1大掃除	地域の方々の交流の場、ボランティアのきっかけ作りを目的に実施し、近隣を清掃する。	1回／月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザニュース	地域への情報発信を目的に広報誌を作成する。	1回／月 1日発行

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ祭り	ケアプラザを利用してくださった方の感謝祭と指定実施。ボランティアや作業所による模擬店や健康講座、バザーなども実施します。	10月実施

# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食の健康講座	鶴見中央のヘルスマイトと協同し、食の健康についての講座と試食会実施	9月実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おとなもこどものラジオ体操	地域住民の交流の機会、健康維持を目的にラジオ体操の実施。	7月・8月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
作業所自主製品販売	作業所が多く健在する鶴見中央なので作業所の存在を地域に知ってもらうことを目的に自主製品の委託販売を行う。	常設

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア連絡会	ボランティア団体、個人との懇談会をし、お互いの活動内容の報告など、横のつながりを設け、より地域力、ボランティア力を高めて行く。	3月実施予定